

Java HTML & Internet Mini Editor

JHime 操作手引書

Copyright (C) 2008 HIROTAKA YAMASHITA.
All Rights Reserved.

2008-06-10

Copyright © 2008 HIROTAKA YAMASHITA

本書に記載されている企業名，団体名や製品名などはそれぞれの権利帰属者の商標または商標登録であり所有物です。

なお，本書では“TM” 及び “®” は明記していません。

目次

第 1 章	イントロダクション	2
1.1	JHime は、何をするソフトウェアか？	2
1.2	実行環境	2
1.3	インストール	2
1.4	ライセンス	2
第 2 章	基本操作	8
2.1	JHime の画面構成	8
2.2	JHime の起動と終了	9
2.3	JHime の初期設定	10
2.4	ツールパネルの基本操作	10
第 3 章	エディタの基本機能（ファイル編）	12
3.1	新規作成	12
3.2	ファイルを開く	12
3.3	ファイルを閉じる	13
3.4	ファイルを保存する	14
3.5	名前を付けて保存する	14
第 4 章	エディタの基本機能（編集編）	16
4.1	テキストの選択	16
4.2	テキストのカット	16
4.3	テキストのペースト	16
4.4	テキストのカット	17
4.5	行の折り返し	17
第 5 章	JHime による文法チェック	18
5.1	タグの検証	18
5.2	整形式の検証	19
5.3	妥当性の検証	19
第 6 章	JHime による XHTML 要素および属性の挿入	21
6.1	挿入の概要	21
6.2	汎用属性	21
6.3	html 要素	23
6.4	head 要素	23
6.5	title 要素	24
6.6	meta 要素（MIME 指定）	24
6.7	meta 要素	24

6.8	link 要素 (外部スタイルシートの指定)	25
6.9	style 要素 (内部スタイルシートの指定)	25
6.10	script 要素	26
6.11	noscript 要素	26
6.12	body 要素	26
6.13	ブロック要素	26
6.13.1	h1~h6 要素	27
6.13.2	p 要素	27
6.13.3	address 要素	27
6.13.4	hr 要素	27
6.13.5	blockquote 要素	27
6.13.6	pre 要素	28
6.14	インライン要素	28
6.14.1	br 要素	28
6.14.2	em 要素	28
6.14.3	strong 要素	28
6.14.4	dfn 要素	28
6.14.5	code 要素	28
6.14.6	var 要素	28
6.14.7	samp 要素	29
6.14.8	kbd 要素	29
6.14.9	sup 要素	29
6.14.10	sub 要素	29
6.14.11	cite 要素	29
6.14.12	q 要素	29
6.14.13	abbr 要素	29
6.14.14	acronym 要素	29
6.14.15	ins 要素	30
6.14.16	del 要素	30
6.15	箇条書き要素	30
6.15.1	ul 要素	30
6.15.2	ol 要素	30
6.15.3	li 要素	30
6.15.4	dl 要素	31
6.15.5	dt 要素	31
6.15.6	dd 要素	31
6.16	テーブル要素	31
6.16.1	tabel 要素	31
6.16.2	caption 要素	31
6.16.3	tr 要素	32
6.16.4	th 要素	32
6.16.5	td 要素	32
6.17	a 要素	32
6.18	img 要素	33
6.19	組み込みオブジェクト要素	33

6.19.1	object 要素	33
6.19.2	param 要素	33
6.20	フォーム要素	34
6.20.1	form 要素	34
6.20.2	input 要素 (type="submit")	34
6.20.3	input 要素 (type="reset")	34
6.20.4	input 要素 (type="button")	35
6.20.5	input 要素 (type="checkbox")	35
6.20.6	input 要素 (type="radio")	35
6.20.7	input 要素 (type="image")	36
6.20.8	input 要素 (type="text")	36
6.20.9	input 要素 (type="password")	36
6.20.10	input 要素 (type="hidden")	37
6.20.11	input 要素 (type="file")	37
6.20.12	select 要素	38
6.20.13	option 要素	38
6.20.14	label 要素	38
6.20.15	fieldset 要素	38
6.20.16	legend 要素	39
6.21	コンテナ要素	39
6.21.1	div 要素	39
6.21.2	span 要素	39
第 7 章	JHime による CSS の挿入	40
7.1	挿入の概要	40
7.2	セレクタの挿入	40
7.3	@規則の挿入	41
7.3.1	@charset の挿入	41
7.3.2	@import の挿入	42
7.3.3	@media の挿入	42
7.4	ブロックの挿入	42
7.5	色・背景の挿入	42
7.5.1	前景色 (color プロパティ)	42
7.5.2	背景個別設定 (background-color、background-image、background-repeat、background-attachment、background-position)	43
7.5.3	背景一括設定 (background プロパティ)	44
7.6	フォント・テキスト	44
7.6.1	フォント個別指定 (font-family、font-style、font-weight、font-size)	44
7.6.2	フォント一括指定 (font プロパティ)	45
7.6.3	テキスト (text-indent、text-align、text-decoration、white-space)	45
7.7	ボックスモデル	45
7.7.1	マージン個別指定 (margin-top、margin-right、margin-bottom、margin-left)	45
7.7.2	マージン一括指定 (margin プロパティ)	46
7.7.3	パディング個別指定 (padding-top、padding-right、padding-bottom、padding-left)	46
7.7.4	パディング一括指定 (padding プロパティ)	46

7.7.5	四角ボーダー指定 (border プロパティ)	47
7.7.6	ボーダー個別指定 (border-top、border-right、border-bottom、border-left)	47
7.8	視覚表現	47
7.8.1	内容領域幅 (width プロパティ)	48
7.8.2	内容領域高さ (height プロパティ)	48
7.8.3	行の高さ (line-height プロパティ)	48
7.8.4	垂直位置指定 (vertical-align プロパティ)	48
7.8.5	ボックス生成 (display プロパティ)	49
7.9	視覚整形	49
7.9.1	配置方法 (position プロパティ)	49
7.9.2	位置指定 (top、right、bottom、left)	49
7.9.3	フロート配置 (float プロパティ)	50
7.9.4	フロート制御 (clear プロパティ)	50
7.10	視覚効果	50
7.10.1	オーバーフロー制御 (overflow プロパティ)	50
7.10.2	可視制御 (visibility プロパティ)	51
7.11	リスト	51
7.11.1	リスト個別指定 (list-style-type、list-style-image、list-style-position)	51
7.11.2	リスト一括指定 (list プロパティ)	52
7.12	テーブル	52
7.12.1	キャプション位置 (caption-side プロパティ)	52
7.12.2	テーブル設定 (table-layout、border-collapse、border-spacing)	52
7.12.3	空セル設定 (empty-cells プロパティ)	53
第 8 章	JHime による RSS の挿入	54
8.1	挿入の概要	54
8.2	チャンネル設定	54
8.2.1	必須要素設定	54
8.2.2	任意要素設定	55
8.2.3	itunes 要素設定	55
8.3	項目設定	55
8.3.1	item 要素	56
8.3.2	任意要素設定	56
8.3.3	itunes 要素設定	56

第1章 イン트로ダクション

1.1 JHime は、何をするソフトウェアか？

JHime は、Web ページの制作、すなわち HTML と CSS を入力するための単純なテキストエディタです。この JHime は、タグ挿入型に分類されるテキストエディタですが、HTML、CSS 以外にも RSS 2.0 および Podcast 用の RSS タグを挿入することができます。

なお、HTML エディタですが、実際には、XHTML 用に作成していますので、HTML 4.01 のページを作成する場合は、若干の工夫が必要です。また、XHTML、CSS、ともにすべての要素やプロパティを実装しているわけではありません。あくまでも学習用のエディタですので、慣れてくれば単純なエディタとして使用した方が、より早く Web ページ作成ができるようになるかもしれません。

1.2 実行環境

JHime は、プログラミング言語 Java によって作られています。よって、オペレーティング・システムの影響を最小限に留めることが可能です。事実、JHime の開発は Apple 社の Mac OS X 10.4 の上で作成され、主に Windows XP の元で使用されています。

ただし、Java の実行環境による影響は受けてしまいます。具体的には、Java 実行環境 (Java Runtime Environment:JRE) のバージョンが 1.4 以上のものを使用してください。

また、JHime 本体は、Java の実行ファイルを圧縮した JAR 形式で提供していますので、拡張子 .jar が JRE 以外のソフトウェアに関連付けられている場合 (特に Windows 系 OS の場合)、正常に起動できないことがあります。その場合は、関連付けを変更してください。

1.3 インストール

JHime のインストールは、とても簡単です。つぎのファイルとアイコンイメージを格納したフォルダを適当なディレクトリにコピーするだけです。

iHime.jar
icons ディレクトリ

また、JHime は非常に小さなソフトウェアですから、コンピュータ上のハードディスクでなく、USB メモリのような持ち運びのできるものに入れることもできます。

1.4 ライセンス

iHime は、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスにより、ライセンスされています。クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの内容に関しては、つぎの URL を参照してください。

<http://www.creativecommons.jp/>

では、つぎに利用許諾条項を掲載しておきます。



アトリビューション—ノンコマーシャル—シェアアライク 2.1
(帰属—非営利—同一条件許諾)

クリエイティブ・コモンズ及びクリエイティブ・コモンズ・ジャパンは法律事務所ではありません。この利用許諾条項の頒布は法的アドバイスその他の法律業務を行うものではありません。クリエイティブ・コモンズ及びクリエイティブ・コモンズ・ジャパンは、この利用許諾の当事者ではなく、ここに提供する情報及び本作品に関しいかなる保証も行いません。クリエイティブ・コモンズ及びクリエイティブ・コモンズ・ジャパンは、いかなる法令に基づこうとも、あなた又はいかなる第三者の損害（この利用許諾に関連する通常損害、特別損害を含みますがこれらに限られません）について責任を負いません。

利用許諾

本作品（下記に定義する）は、このクリエイティブ・コモンズパブリックライセンス日本版（以下「この利用許諾」という）の条項の下で提供される。本作品は、著作権法及び／又は他の適用法によって保護される。本作品をこの利用許諾又は著作権法の下で授権された以外の方法でを使用することを禁止する。

許諾者は、かかる条項をあなたが承諾することとひきかえに、ここに規定される権利をあなたに付与する。本作品に関し、この利用許諾の下で認められるいずれかの利用を行うことにより、あなたは、この利用許諾（条項）に拘束されることを承諾し同意したこととなる。

第1条 定義

この利用許諾中の用語を以下のように定義する。その他の用語は、著作権法その他の法令で定める意味を持つものとする。

- a. 「**二次的著作物**」とは、著作物を翻訳し、編曲し、若しくは変形し、または脚色し、映画化し、その他翻案することにより創作した著作物をいう。ただし、編集著作物又はデータベースの著作物（以下、この二つを併せて「編集著作物等」という。）を構成する著作物は、二次的著作物とみなされない。また、原著作者及び実演家の名誉又は声望を害する方法で原著著作物を改作、変形もしくは翻案して生じる著作物は、この利用許諾の目的においては、二次的著作物に含まれない。
- b. 「**許諾者**」とは、この利用許諾の条項の下で本作品を提供する個人又は団体をいう。
- c. 「**あなた**」とは、この利用許諾に基づく権利を行使する個人又は団体をいう。
- d. 「**原著作者**」とは、本作品に含まれる著作物を創作した個人又は団体をいう。
- e. 「**本作品**」とは、この利用許諾の条項に基づいて利用する権利が付与される対象たる無体物を行い、著作物、実演、レコード、放送にかかる音又は映像、もしくは有線放送にかかる音又は映像をすべて含むものとする。
- f. 「**ライセンス要素**」とは、許諾者が選択し、この利用許諾に表示されている、以下のライセンス属性をいう：帰属・非営利・同一条件許諾

第 2 条 著作権等に対する制限

この利用許諾に含まれるいかなる条項によっても、許諾者は、あなたが著作権の制限（著作権法第 30 条～49 条）、著作者人格権に対する制限（著作権法第 18 条 2 項～4 項、第 19 条 2 項～4 項、第 20 条 2 項）、著作隣接権に対する制限（著作権法第 102 条）その他、著作権法又はその他の適用法に基づいて認められることとなる本作品の利用を禁止しない。

第 3 条 ライセンスの付与

この利用許諾の条項に従い、許諾者はあなたに、本作品に関し、すべての国で、ロイヤリティ・フリー、非排他的で、（第 7 条 b に定める期間）継続的な以下のライセンスを付与する。ただし、あなたが以前に本作品に関するこの利用許諾の条項に違反したことがないか、あるいは、以前にこの利用許諾の条項に違反したがこの利用許諾に基づく権利を行使するために許諾者から明示的な許可を得ている場合に限る。

- a. 本作品に含まれる著作物（以下「本著作物」という。）を複製すること（編集著作物等に組み込み複製することを含む。以下、同じ。）、
- b. 本著作物を翻案して二次的著作物を創作し、複製すること、
- c. 本著作物又はその二次的著作物の複製物を頒布すること（譲渡または貸与により公衆に提供することを含む。以下同じ。）、上演すること、演奏すること、上映すること、公衆送信を行うこと（送信可能化を含む。以下、同じ。）、公に口述すること、公に展示すること、
- d. 本作品に含まれる実演を、録音・録画すること（録音録画物を増製することを含む）、録音録画物により頒布すること、公衆送信を行うこと、
- e. 本作品に含まれるレコードを、複製すること、頒布すること、公衆送信を行うこと、
- f. 本作品に含まれる、放送に係る音又は影像を、複製すること、その放送を受信して再放送すること又は有線放送すること、その放送又はこれを受信して行う有線放送を受信して送信可能化すること、そのテレビジョン放送又はこれを受信して行う有線放送を受信して、影像を拡大する特別の装置を用いて公に伝達すること、
- g. 本作品に含まれる、有線放送に係る音又は影像を、複製すること、その有線放送を受信して放送し、又は再有線放送すること、その有線放送を受信して送信可能化すること、その有線テレビジョン放送を受信して、影像を拡大する特別の装置を用いて公に伝達すること、

上記に定められた本作品又はその二次的著作物の利用は、現在及び将来のすべての媒体・形式で行うことができる。あなたは、他の媒体及び形式で本作品又はその二次的著作物を利用するのに技術的に必要な変更を行うことができる。許諾者は本作品又はその二次的著作物に関して、この利用許諾に従った利用については自己が有する著作者人格権及び実演家人格権を行使しない。許諾者によって明示的に付与されない全ての権利は、留保される。

第 4 条 受領者へのライセンス提供

あなたが本作品をこの利用許諾に基づいて利用する度毎に、許諾者は本作品又は本作品の二次的著作物の受領者に対して、直接、この利用許諾の下であなたに許可された利用許諾と同じ条件の本作品のライセンスを提供する。

第 5 条 制限

上記第 3 条及び第 4 条により付与されたライセンスは、以下の制限に明示的に従い、制約される。

- a. あなたは、この利用許諾の条項に基づいてのみ、本作品を利用することができる。
- b. あなたは、この利用許諾又はこの利用許諾と同一のライセンス要素を含むほかのクリエイティブコモンズ・ライセンス（例えば、この利用許諾の新しいバージョン、又はこの利用許諾と同一のライセンス要素の他国籍ライセンスなど）に基づいてのみ、本作品の二次的著作物を利用することができる。
- c. あなたは、本作品を利用するときは、この利用許諾の写し又は URI（Uniform Resource Identifier）を本作品の複製物に添付又は表示しなければならない。
- d. あなたは、本作品の二次的著作物を利用するときは、この利用許諾又はこの利用許諾と同一のライセンス要素を含むほかのクリエイティブコモンズライセンスの写し又は URI を本作品の二次的著作物の複製物に添付または表示しなければならない。
- e. あなたは、この利用許諾条項及びこの利用許諾によって付与される利用許諾受領者の権利の行使を変更又は制限するような、本作品又はその二次的著作物に係る条件を提案したり課したりしてはならない。
- f. あなたは、本作品を再利用許諾することができない。
- g. あなたは、本作品又はその二次的著作物の利用にあたって、この利用許諾及びその免責条項に関する注意書きの内容を変更せず、見やすい状態でそのまま掲載しなければならない。
- h. あなたは、この利用許諾条項と矛盾する方法で本著作物へのアクセス又は使用をコントロールするような技術的保護手段を用いて、本作品又はその二次的著作物を利用してはならない。
- i. 本条の制限は、本作品又はその二次的著作物が編集著作物等に組み込まれた場合にも、その組み込まれた作品に関しては適用される。しかし、本作品又はその二次的著作物が組み込まれた編集著作物等そのものは、この利用許諾の条項に従う必要はない。
- j. あなたは、本作品又はその二次的著作物を営利目的で利用してはならない。デジタル・ファイル共有その他の手段による本作品又はその二次的著作物とその他の作品との交換は、作品の交換に関連して金銭的報酬の支払いがない限り、営利を目的とするものとはみなさない。
- k. あなたは、本作品、その二次的著作物又は本作品を組み込んだ編集著作物等を利用する場合には、(1) 本作品に係るすべての著作権表示をそのまましておかなければならず、(2) 原作者及び実演家のクレジットを、合理的な方式で、（もし示されていれば原作者及び実演家の名前又は変名を伝えることにより、）表示しなければならず、(3) 本作品のタイトルが示されている場合には、そのタイトルを表示しなければならず、(4) 許諾者が本作品に添付するよう指定した URI があれば、合理的に実行可能な範囲で、その URI を表示しなければならず（ただし、その URI が本作品の著作権表示またはライセンス情報を参照するものでないときはこの限りでない。）(5) 二次的著作物の場合には、当該二次的著作物中の原著作物の利用を示すクレジットを表示しなければならない。これらのクレジットは、合理的であればどんな方法でも行うことができる。しかしながら、二次的著作物又は編集著作物等の場合には、少なくとも他の同様の著作者のクレジットが表示される箇所で当該クレジットを表示し、少なくとも他の同様の著作者のクレジットと同程度に目立つ方法であることを要する。
- l. もし、あなたが、本作品の二次的著作物、又は本作品もしくはその二次的著作物を組み込んだ編集著作物等を創作した場合、あなたは、許諾者からの通知があれば、実行可能な範囲で、要求に応じて、二次的著作物又は編集著作物等から、許諾者又は原作者への言及をすべて除去しなければならない。

第 6 条 責任制限

この利用許諾の両当事者が書面にて別途合意しない限り、許諾者は本作品を現状のまま提供するものとし、明示・黙示を問わず、本作品に関していかなる保証（特定の利用目的への適合性、第三者の権利の非侵害、欠陥の不存在を含むが、これに限られない。）もしない。

この利用許諾又はこの利用許諾に基づく本作品の利用から発生する、いかなる損害（許諾者が、本作品にかかる著作権、著作隣接権、著作者人格権、実演家人格権、商標権、パブリシティ権、不正競争防止法その他関連法規上保護される利益を有する者からの許諾を得ることなく本作品の利用許諾を行ったことにより発生する損害、プライバシー侵害又は名誉毀損から発生する損害等の通常損害、及び特別損害を含むが、これに限らない。）についても、許諾者に故意又は重大な過失がある場合を除き、許諾者がそのような損害発生の可能性を知らされたか否かを問わず、許諾者は、あなたに対し、これを賠償する責任を負わない。

第 7 条 終了

- a. この利用許諾は、あなたがこの利用許諾の条項に違反すると自動的に終了する。しかし、本作品、その二次的著作物又は編集著作物等をあなたからこの利用許諾に基づき受領した第三者に対しては、その受領者がこの利用許諾を遵守している限り、この利用許諾は終了しない。第 1 条、第 2 条、第 4 条から第 9 条は、この利用許諾が終了してもなお有効に存続する。
- b. 上記 a に定める場合を除き、この利用許諾に基づくライセンスは、本作品に含まれる著作権法上の権利が存続するかぎり継続する。
- c. 許諾者は、上記 a および b に関わらず、いつでも、本作品をこの利用許諾に基づいて頒布することを将来に向かって中止することができる。ただし、許諾者がこの利用許諾に基づく頒布を将来に向かって中止した場合でも、この利用許諾に基づいてすでに本作品を受領した利用者に対しては、この利用許諾に基づいて過去及び将来に与えられるいかなるライセンスも終了することはない。また、上記によって終了しない限り、この利用許諾は、全面的に有効なものとして継続する。

第 8 条 その他

- a. この利用許諾のいずれかの規定が、適用法の下で無効及び／又は執行不能の場合であっても、この利用許諾の他の条項の有効性及び執行可能性には影響しない。
- b. この利用許諾の条項の全部又は一部の放棄又はその違反に関する承諾は、これが書面にされ、当該放棄又は承諾に責任を負う当事者による署名又は記名押印がなされない限り、行うことができない。
- c. この利用許諾は、当事者が本作品に関して行った最終かつ唯一の合意の内容である。この利用許諾は、許諾者とあなたとの相互の書面による合意なく修正されない。
- d. この利用許諾は日本語により提供される。この利用許諾の英語その他の言語への翻訳は参照のためのものに過ぎず、この利用許諾の日本語版と翻訳との間に何らかの齟齬がある場合には日本語版が優先する。

第 9 条 準拠法

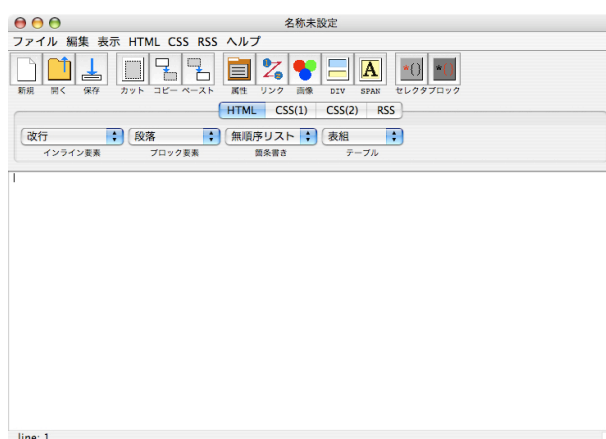
この利用許諾は、日本法に基づき解釈される。

本作品がクリエイティブ・コモンズ・ライセンスに基づき利用許諾されたことを公衆に示すという限定された目的の場合を除き、許諾者も被許諾者もクリエイティブ・コモンズの事前の書面による同意なしに「クリエイティブ・コモンズ」の商標若しくは関連商標又はクリエイティブ・コモンズのロゴを使用しないものとします。使用が許可された場合はクリエイティブ・コモンズおよびクリエイティブコモンズジャパンのウェブサイト上に公表される、又はその他随時要求に従い利用可能となる、クリエイティブ・コモンズの当該時点における商標使用指針を遵守するものとします。クリエイティブ・コモンズは <http://creativecommons.org/> から、クリエイティブ・コモンズ・ジャパンは <http://www.creativecommons.jp/> から連絡することができます。

第2章 基本操作

2.1 JHime の画面構成

JHime は、つぎのようなウィンドウで1つの文書を扱います。複数の文書进行处理する場合は、同じ画面が文書の数だけ表示されることになります。つまり、JHime は、SDI (Single Document Interface) のテキストエディタになります。同じような仲間に Windows の「メモ帳」や Mac の「テキストエディット」があります。

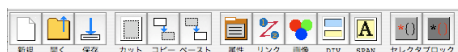


JHime の画面は、以下の各部分から構成されています。

メニューバー 各種の処理を選択します。

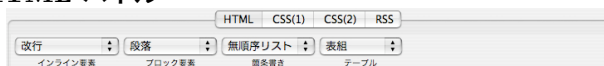
ファイル 編集 表示 HTML CSS RSS ヘルプ

ツールバー ファイル操作、編集操作、HTML、CSS の各操作の主な処理を選択します。



ツールパネル HTML、CSS、RSS の各処理を選択するパネルです。

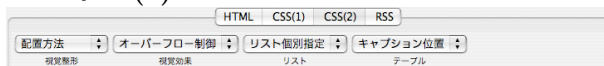
HTML パネル



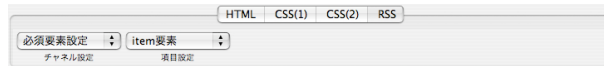
CSS パネル (1)



CSS パネル (2)



RSS パネル

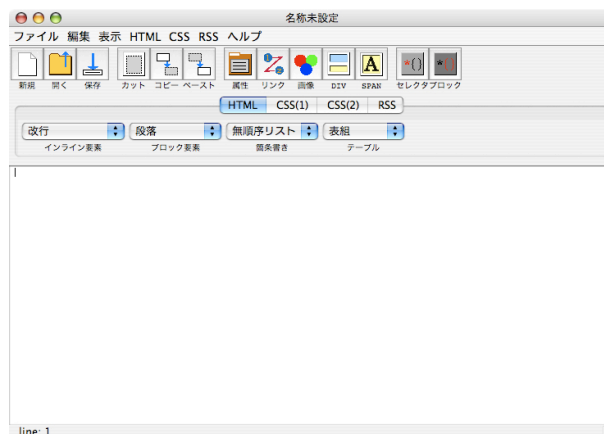


編集領域 実際に文書を入力する部分です。

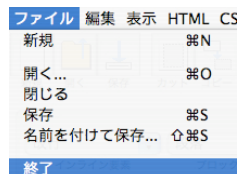
ステータス行 最下行にカーソルの現在行位置を表示します。なお、行の折り返し表示を行っている場合は、画面上で複数行に見えても、実際には、1行で、ステータス行の位置は、見た目ではなく実際の行位置を示しています。

2.2 JHime の起動と終了

JHime の起動は、とても簡単です。ファイル JHime.jar をダブルクリックするだけです。正常に起動できれば、つぎのような画面が表示されるはずです。



終了も起動と同じく簡単です。メニューバーから **【ファイル】** - **【終了】** を選択すれば終了となります。



このとき編集中文書がある場合は、保存確認ダイアログが表示されます。



ここで、「**取消しボタン**」をクリックすれば、エディタに戻り、「**いいえボタン**」をクリックすれば、保存せずに終了します。そして、「**はいボタン**」をクリックした場合は、保存して終了します。保存する場合の操作の詳しい説明は、後述しています。

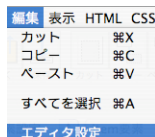
また、単純にウィンドウを閉じてでも終了することができます。ただし、JHime は、SDI (Single Document Interface) を採用している関係から、複数のウィンドウを操作している場合は、対象ウィンドウを1つだけ終了し、JHime 全体は終了しません。そして、最後のウィンドウを閉じた場合に、JHime を終了します。

2.3 JHime の初期設定

タブ幅やフォントサイズなどの設定を行います。この操作は、編集中心に行うこともできます。また、ここでの設定値は、複数のウィンドウに影響します。つまり、JHime 全体に関わる値になっています。

ただし、設定値が反映されるのは、設定を変更したウィンドウおよび新規のウィンドウあるいは変更後の編集作業です。正確に設定値が反映されるのは、次回起動時からになります。

手順 1. メニューバーから **【編集】** - **【エディタ設定】** を選択します。



手順 2. エディタ設定ダイアログが、表示されるので、各設定値を指定します。



タブ幅 タブ幅を入力します。

フォントサイズ フォントサイズを入力します。

CSS タブ数 CSS のプロパティを挿入する場合、プロパティの前に挿入するタブの数を入力します。

基底 URL 参照方式で、「基底 URL + ファイル名」を選択した場合に使用する URL を入力します。

参照方式 リンクや画像などの URL を指定する場合の参照方式を指定します。

ファイル名 参照したファイルのファイル名のみを URL として扱います。

フルパス名 参照したファイルのフルパス名（ローカル環境）を URL として扱います。

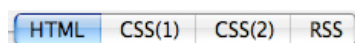
基底 URL + ファイル名 参照したファイルのファイル名の前に基底 URL で入力した値を付加して文字列を URL として扱います。

手順 3. 最後に **「設定ボタン」** をクリックします。

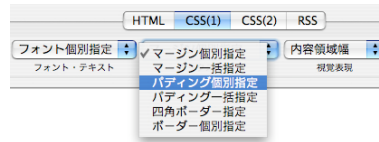
2.4 ツールパネルの基本操作

JHime の多くの操作は、ツールバーとツールパネルによって選択することができます。ここでは、そのうちツールパネルの基本的な使用方法について説明します。

手順 1. ツールパネルの **「タブ」** をクリックして、使用したいパネルを選択します。



手順 2. パネル上の選択ボックスから、行いたい処理を選択します。



もし、ここで選択を取りやめたい場合は、その操作に気をつけてください。

JHime では、選択の途中で他の選択ボックスを選ぶと、現在の選択ボックスの処理を選択し、なおかつ後から選択したボックスの初期設定の処理も選択してしまいます。


選択を取りやめる場合は、「**ESC キー**」で選択を取り消してください。あるいは、選択ボックスのない、他の領域をマウスでクリックします。

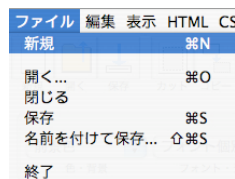


第3章 エディタの基本機能（ファイル編）

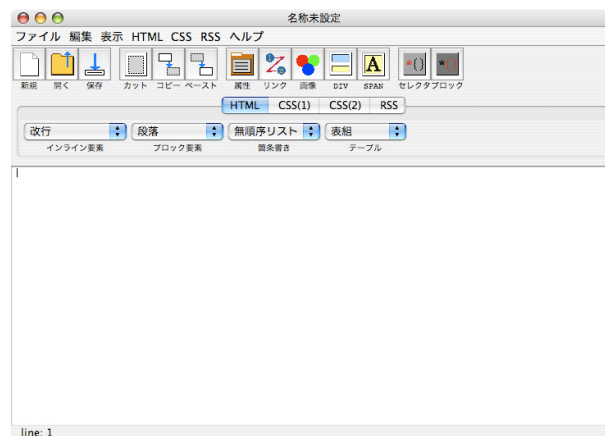
3.1 新規作成

JHime を起動した直後は、文書の新規作成状態ですので、そのまま新しい編集を始めることができます。また、2つ目以降の文書を新規に作成したい場合は、つぎの手順で行うことができます。

手順 1. メニューバーから【ファイル】－【新規】を選択するか、ショートカットキー「*Control + N*」（Windows の場合は、Control キー、Mac の場合は、Command キーとなります。：以下同じ）あるいは、ツールバーから「新規アイコン」を選択します。




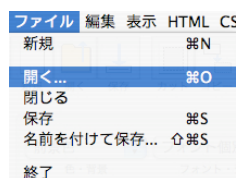
手順 2. JHime の新しいウィンドウが表示されます。



3.2 ファイルを開く

現在のウィンドウに新しくファイルを読み込みます。

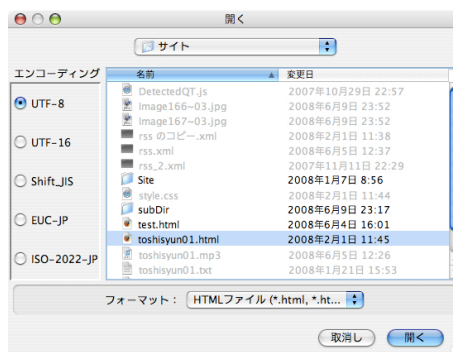
手順 1. メニューバーから【ファイル】－【開く】を選択するか、ショートカットキー「*Control + O*」あるいは、ツールバーから「開くアイコン」を選択します。



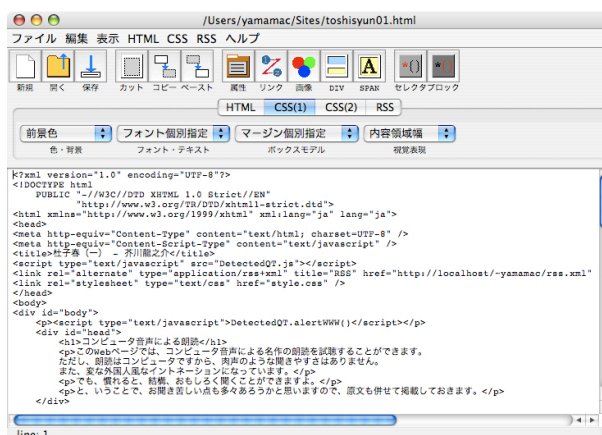
このとき現在編集中のウィンドウが修正されていて、かつ、保存されていない場合、保存確認ダイアログが表示されます。



手順 2. ファイル選択ダイアログが表示されます。ファイルのエンコーディング方式を選択し（JHime では、エンコーディングの自動認識はしません）、読み込みたいファイルを選択します。



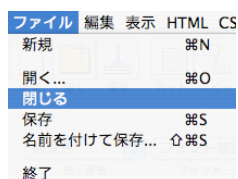
手順 3. 最後に「開くボタン」をクリックします。ファイルを入力後、つぎのように表示されます。このときウィンドウタイトルには、ファイルのフルパス名が表示されます。



3.3 ファイルを閉じる

ウィンドウを閉じる操作です。

手順 1. メニューバーから【ファイル】－【閉じる】を選択します。



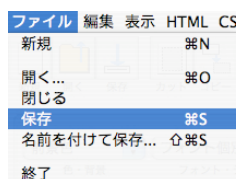
このとき現在編集中のウィンドウが修正されていて、かつ、保存されていない場合、保存確認ダイアログが表示されます。



3.4 ファイルを保存する

現在、編集中のテキストを上書き保存します。

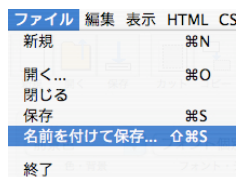
手順 1. メニューバーから【ファイル】－【保存】を選択するか、ショートカットキー「*Control + S*」あるいは、ツールバーから「保存アイコン」を選択します。



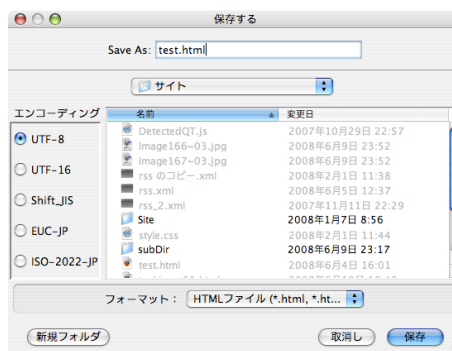
3.5 名前を付けて保存する

現在、編集中のテキストを異なるファイル名を付けて新しく保存します。

手順 1. メニューバーから【ファイル】－【名前を付けて保存】を選択するか、ショートカットキー「*Shift + Control + S*」を選択します。

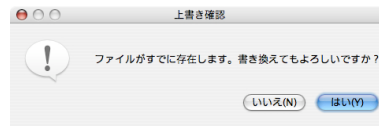


手順 2. 保存ダイアログが表示されるので、保存先フォルダ、保存エンコーディング方式を指定後、ファイル名を入力します。



手順 3. 最後に「保存ボタン」をクリックします。

このとき同名のファイルが存在する場合には、上書き確認ダイアログが表示されます。



第4章 エディタの基本機能（編集編）

4.1 テキストの選択

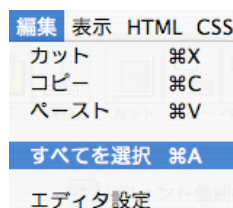
編集の基本機能には、カット、コピー、ペーストがありますが、その元になるテキストの選択について説明します。

テキストの選択は、非常に簡単です。一般のワープロなどと同じように、

Shift + 矢印キー

による選択、およびマウスのドラッグ操作による選択ができます。

また、すべてのテキストを選択した場合には、メニューバーから【編集】－【すべてを選択】を選択するか、ショートカットキー「*Control* + *A*」を選択します。

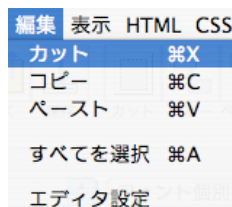


4.2 テキストのカット

選択されたテキストを削除し、その内容をクリップボードにコピーします。

手順 1. 対象となるテキストを選択します。


手順 2. メニューバーから【編集】－【カット】を選択するか、ショートカットキー「*Control* + *X*」あるいは、ツールバーから「**カットアイコン**」を選択します。

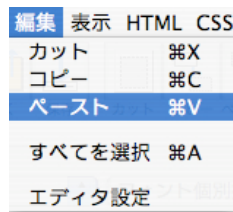


4.3 テキストのペースト

クリップボードの内容をカーソル位置にペーストします。

手順 1. ペーストしたい位置にカーソルを移動します。

手順 2. メニューバーから【編集】－【ペースト】を選択するか、ショートカットキー「*Control* + *V*」あるいは、ツールバーから「**ペーストアイコン**」を選択します。

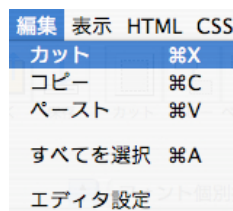


4.4 テキストのカット

選択されたテキストを削除し、その内容をクリップボードにコピーします。

手順 1. 対象となるテキストを選択します。

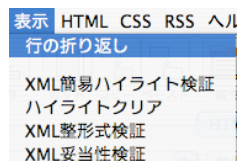
手順 2. メニューバーから **【編集】** - **【カット】** を選択するか、ショートカットキー「*Control + X*」あるいは、ツールバーから「**カットアイコン**」 を選択します。



4.5 行の折り返し

1 行で表示できないような長い行を折り返して複数行で表示します。この機能は、編集に関わる部分ですが、見た目のことなので、「表示メニュー」の中にあります。

「行を折り返す」場合、メニューバーから **【表示】** - **【行の折り返し】** を選択します。



また、行の折り返しを取りやめる場合も、同様の操作により「行の折り返し」のチェックを外します。



第5章 JHime による文法チェック

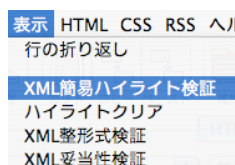
5.1 タグの検証

JHime では、XHTML の文法をチェックするためのいろいろな仕組みが組込まれています。そのもっとも簡単なものが、「XML 簡易ハイライト検証」です。

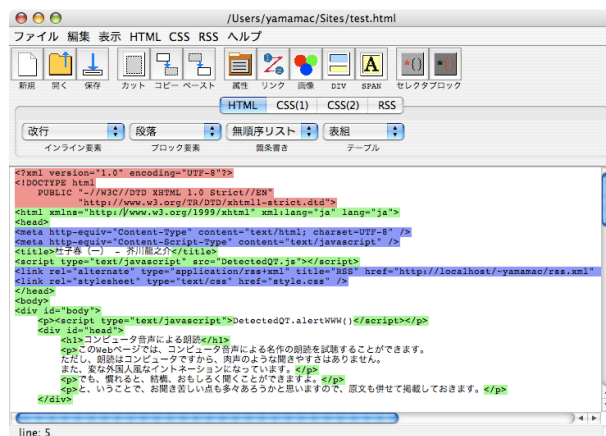
これは、単純に記号 < と > で囲まれた部分をハイライト表示するだけです。ただ、これだけでも単純なミスは発見しやすくなります。

XML 簡易ハイライト検証は、つぎの手順で操作します。

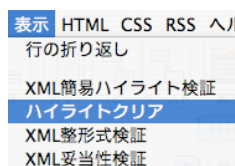
手順 1. メニューバーから **【表示】** — **【XML 簡易ハイライト検証】** を選択します。



手順 2. 編集領域がハイライト表示されます。記号 <? あるいは <! で始まる部分は赤系の色、空要素は青系の色、それ以外のタグは緑系の色でハイライト表示します。



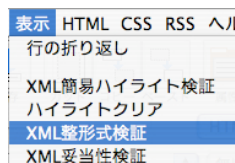
手順 3. ハイライトされた状態のままでも編集は可能ですが、ハイライトの更新はされません。そこで、確認が終了したら、メニューバーから **【表示】** — **【ハイライトクリア】** を選択して、ハイライト状態を解除します。



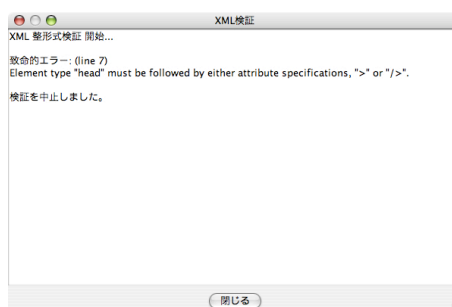
5.2 整形形式の検証

XHTML や XML の最も基本的な整形形式について検証します。なお、この検証はインタプリティブに行いますので、エラーを発見した時点で検証を中止し、それ以降の検証は行いません。

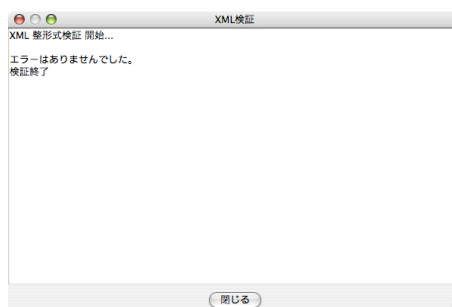
手順 1. メニューバーから **【表示】** - **【XML 整形形式検証】** を選択します。



手順 2. 検証結果が表示されます。エラーが発生した場合は、つぎのように検証結果ダイアログが表示されます。



検証結果ダイアログは、最前面に表示されたままなので、それを見ながら誤りを修正します。なお、正常に終了した場合は、つぎのような検証結果ダイアログが表示されます。

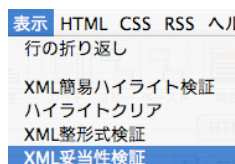


手順 3. 検証結果ダイアログの **「閉じるボタン」** をクリックします。

5.3 妥当性の検証

XHTML や XML の DTD に基づいた検証を行います。そのためインターネットに接続した状態でないと検証できません。

手順 1. メニューバーから **【表示】** - **【XML 妥当性検証】** を選択します。



- 手順 2. 検証結果ダイアログが表示されます。「整形式の検証」と同様にエラーが発生した場合は、検証結果ダイアログは、最前面に表示されたままなので、それを見ながら誤りを修正します。
- 手順 3. 検証結果ダイアログの「**閉じるボタン**」をクリックします。

第6章 JHime による XHTML 要素および属性の挿入

6.1 挿入の概要

JHime は、タグ挿入型のテキストエディタです。そのためテキストを選択して、タグ挿入を行うとテキストの前後にタグを挿入します。また、空要素の場合には、要素のみを挿入します。

各要素のタグは種類により挿入した後、改行するものとししないものがあります。また、要素によっては、属性指定のダイアログを表示し、その指定まで含めて挿入します。

要素の指定にはメニューバーの「HTML メニュー」からすべて行えますが、一部の要素は、ツールバーあるいはツールパネルも併用できるようになっています。

6.2 汎用属性

要素を指定する場合、各要素ごとに指定できる属性もありますが、それ以外に共通でよく使用される属性、あるいは特定の要素に限定されるが、あまり使用されない属性などを「汎用属性」としてまとめています。

汎用属性の指定は、挿入したい位置にカーソルを移動後、つぎのいずれかの操作を行います。

- メニューバーから【HTML】－【汎用属性】を選択する。
- ツールバーから「汎用属性アイコン」をクリックする。

汎用属性ダイアログが表示されるので、指定したい属性をチェックし、属性値を入力あるいは選択します。なお、このダイアログは、5 枚のパネルから構成されています。

コア属性パネル id 属性、class 属性、style 属性、title 属性の指定ができます。



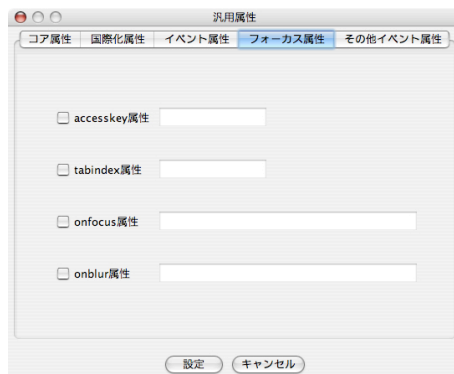
国際化属性パネル lang 属性、xml:lang 属性の指定、および dir 属性の選択ができます。



イベント属性パネル onclick 属性、ondblclick 属性、onmousedown 属性、onmouseup 属性、onmousemove 属性、onmouseout 属性、onkeypress 属性、onkeydown 属性、onkeyup 属性の指定ができます。



フォーカス属性パネル accesskey 属性、tabindex 属性、onfocus 属性、onblur 属性の指定ができます。



その他のイベント属性パネル onload 属性、onunload 属性、onsubmit 属性、onreset 属性、onselect 属性、onchange 属性の指定ができます。



6.3 html 要素

もっとも基本となる XML 宣言、DTD 宣言、html 要素を挿入します。html 文書の挿入は、挿入したい位置にカーソルを移動後、つぎの操作を行います。

- メニューバーから **[HTML] — [html 文書]** を選択します。



XML 宣言 XML 宣言のバージョンおよびエンコーディングを指定します。

DTD 宣言 使用する DTD を指定します。

xmlns 属性 html 要素の xmlns 属性を指定します。

xml:lang 属性 html 要素の xml:lang 属性を指定します。

lang 属性 html 要素の lang 属性を指定します。

デフォルトの状態で挿入されるテキストは、つぎのようになります。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Strict//EN"
    "http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-strict.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja">
</html>
```

6.4 head 要素

- メニューバーから **[HTML] — [html 文書ヘッダ] — [ヘッダ]** を選択します。

開始タグ `<head>`、終了タグ `</head>` の後で、強制改行されます。

6.5 title 要素

- メニューバーから【HTML】－【html 文書ヘッダ】－【タイトル】を選択します。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ <title> を、終了位置に終了タグ < /title> を挿入し、終了タグの後で強制改行されます。

6.6 meta 要素 (MIME 指定)

- メニューバーから【HTML】－【html 文書ヘッダ】－【MIME タイプ】を選択します。



MIME 指定 MIME タイプを指定します。

エンコーディング エンコーディング方式を指定します。

空要素タグ <meta /> を挿入した後で、強制改行されます。

```
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8" />
```

6.7 meta 要素

- メニューバーから【HTML】－【html 文書ヘッダ】－【メタ情報】を選択します。



http-equiv 属性 http-equiv 属性を指定する場合、チェックをして、属性値を入力します。

name 属性 name 属性を指定する場合、チェックをして、属性値を入力します。

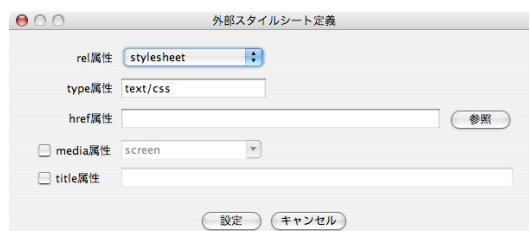
content 属性 必須属性（チェックボックスのない属性は必須属性：以下同じ）なので、属性値を必ず指定します。

空要素タグ <meta /> を挿入した後で、強制改行されます。

```
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css" />
```

6.8 link 要素（外部スタイルシートの指定）

- メニューバーから【HTML】－【html 文書ヘッダ】－【スタイルシート】－【外部スタイルシート】を選択します。



rel 属性 rel 属性を指定します。

type 属性 type 属性を指定します。

href 属性 href 属性を指定します。ローカルファイルを参照して指定することもできます。その場合は、「参照ボタン」をクリックします。

media 属性 media 属性を指定します。

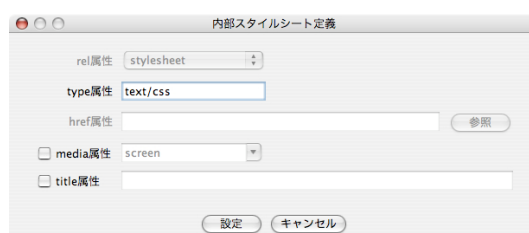
title 属性 title 属性を指定します。

空要素タグ <link /> を挿入した後で、強制改行されます。

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="style.css" />
```

6.9 style 要素（内部スタイルシートの指定）

- メニューバーから【HTML】－【html 文書ヘッダ】－【スタイルシート】－【内部スタイルシート】を選択します。



rel 属性 指定できません。

type 属性 type 属性を指定します。

href 属性 指定できません。

media 属性 media 属性を指定します。

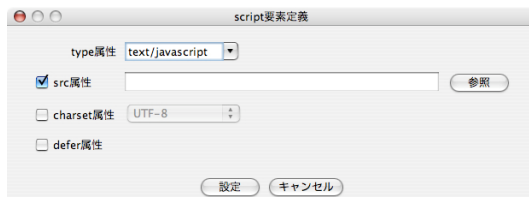
title 属性 title 属性を指定します。

開始タグ <style>、終了タグ </style> の後で、強制改行されます。

```
<style type="text/css">
</style>
```

6.10 script 要素

- メニューバーから **[HTML] — [html 文書ヘッダ] — [スクリプト] — [スクリプト指定]** を選択します。



type 属性 type 属性を指定します。

src 属性 src 属性を指定します。ローカルファイルを参照して指定することもできます。その場合は、「参照ボタン」をクリックします。

charset 属性 charset 属性を指定します。

defer 属性 defer 属性を指定します。

開始タグ `<script>`、終了タグ `</script>` の後で、強制改行されます。

```
<script type="text/javascript" src="sample.js">
</script>
```

6.11 noscript 要素

- メニューバーから **[HTML] — [html 文書ヘッダ] — [スクリプト] — [非スクリプト指定]** を選択します。

開始タグ `<noscript>`、終了タグ `</noscript>` の後で、強制改行されます。

```
<noscript>
</noscript>
```

6.12 body 要素

- メニューバーから **[HTML] — [html 文書ボディ]** を選択します。

開始タグ `<body>`、終了タグ `</body>` の後で、強制改行されます。

```
<body>
</body>
```

6.13 ブロック要素

以下の各要素を挿入します。ブロック要素は *HTML ツールパネルのブロック要素選択ボックス* から選択できます。

6.13.1 h1~h6 要素

h1 要素 メニューバーから **【HTML】**－**【ブロック要素】**－**【見出し】**－**【見出し1】** を選択します。

h2 要素 メニューバーから **【HTML】**－**【ブロック要素】**－**【見出し】**－**【見出し2】** を選択します。

h3 要素 メニューバーから **【HTML】**－**【ブロック要素】**－**【見出し】**－**【見出し3】** を選択します。

h4 要素 メニューバーから **【HTML】**－**【ブロック要素】**－**【見出し】**－**【見出し4】** を選択します。

h5 要素 メニューバーから **【HTML】**－**【ブロック要素】**－**【見出し】**－**【見出し5】** を選択します。

h6 要素 メニューバーから **【HTML】**－**【ブロック要素】**－**【見出し】**－**【見出し6】** を選択します。

選択されテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入する。終了タグの後で強制改行されます。

6.13.2 p 要素

p 要素 メニューバーから **【HTML】**－**【ブロック要素】**－**【段落】** を選択します。

選択されテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入する。終了タグの後で強制改行されます。

6.13.3 address 要素

address 要素 メニューバーから **【HTML】**－**【ブロック要素】**－**【作成者情報】** を選択します。

選択されテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入する。終了タグの後で強制改行されます。

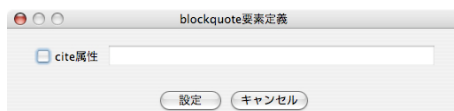
6.13.4 hr 要素

hr 要素 メニューバーから **【HTML】**－**【ブロック要素】**－**【水平区画線】** を選択します。

空要素タグを挿入した後で、強制改行されます。

6.13.5 blockquote 要素

blockquote 要素 メニューバーから **【HTML】**－**【ブロック要素】**－**【引用文】** を選択します。



cite 属性を指定します。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、それぞれのタグの後で、強制改行されます。

6.13.6 pre 要素

pre 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【ブロック要素】** — **【整形テキスト】** を選択します。

選択されテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入し、終了タグの後で強制改行されます。

6.14 インライン要素

以下の各要素を挿入します。インライン要素は *HTML* ツールパネルの**インライン要素選択ボックス**からも選択できます。

6.14.1 br 要素

br 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【インライン要素】** — **【改行】** を選択します。

空要素タグを挿入します。

6.14.2 em 要素

em 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【インライン要素】** — **【強調】** を選択します。

選択されテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入します。

6.14.3 strong 要素

strong 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【インライン要素】** — **【最強調】** を選択します。

選択されテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入します。

6.14.4 dfn 要素

dfn 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【インライン要素】** — **【用語】** を選択します。

選択されテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入します。

6.14.5 code 要素

code 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【インライン要素】** — **【コード】** を選択します。

選択されテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入します。

6.14.6 var 要素

var 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【インライン要素】** — **【変数・引数】** を選択します。

選択されテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入します。

6.14.7 samp 要素

samp 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【インライン要素】** — **【出力サンプル】** を選択します。

選択されテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入します。

6.14.8 kbd 要素

kbd 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【インライン要素】** — **【キーボード入力】** を選択します。

選択されテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入します。

6.14.9 sup 要素

sup 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【インライン要素】** — **【上付き文字】** を選択する。

選択されテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入します。

6.14.10 sub 要素

sub 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【インライン要素】** — **【下付き文字】** を選択します。

選択されテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入します。

6.14.11 cite 要素

cite 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【インライン要素】** — **【引用元】** を選択します。

選択されテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入します。

6.14.12 q 要素

q 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【インライン要素】** — **【引用文】** を選択します。

選択されテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入します。

6.14.13 abbr 要素

abbr 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【インライン要素】** — **【省略語】** を選択します。

選択されテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入します。

6.14.14 acronym 要素

acronym 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【インライン要素】** — **【頭字語】** を選択します。

選択されテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入します。

6.14.15 ins 要素

ins 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【インライン要素】** — **【追加文】** を選択します。



cite 属性と datetime 属性を指定します。

選択されたテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入します。

6.14.16 del 要素

del 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【インライン要素】** — **【削除文】** を選択します。



cite 属性と datetime 属性を指定します。

選択されたテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入します。

6.15 箇条書き要素

以下の各要素を挿入します。箇条書き要素は **HTML ツールパネルの箇条書き選択ボックス**からも選択できます。

6.15.1 ul 要素

ul 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【箇条書き】** — **【無順序リスト】** を選択します。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、それぞれのタグの後で、強制改行されます。

6.15.2 ol 要素

ol 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【箇条書き】** — **【順序リスト】** を選択します。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、それぞれのタグの後で、強制改行されます。

6.15.3 li 要素

li 要素 メニューバーから **【HTML】** — **【箇条書き】** — **【リスト項目】** を選択します。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、終了タグの後で、強制改行されます。

6.15.4 dl 要素

dl 要素 メニューバーから【HTML】－【箇条書き】－【定義リスト】を選択します。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、それぞれのタグの後で、強制改行されます。

6.15.5 dt 要素

dt 要素 メニューバーから【HTML】－【箇条書き】－【用語項目】を選択します。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、終了タグの後で、強制改行されます。

6.15.6 dd 要素

dd 要素 メニューバーから【HTML】－【箇条書き】－【説明項目】を選択します。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、終了タグの後で、強制改行されます。

6.16 テーブル要素

以下の各要素を挿入します。テーブル要素は *HTML ツールパネル*の**テーブル選択ボックス**からも選択できます。

6.16.1 tabel 要素

table 要素 メニューバーから【HTML】－【テーブル】－【表組】を選択します。



width 属性、border 属性、cellspacing 属性、cellpadding 属性の各属性が指定できます。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、それぞれのタグの後で、強制改行されます。

6.16.2 caption 要素

caption 要素 メニューバーから【HTML】－【テーブル】－【表見出し】を選択します。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、終了タグの後で、強制改行されます。

6.16.3 tr 要素

tr 要素 メニューバーから【HTML】－【テーブル】－【行】を選択します。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、それぞれのタグの後で、強制改行されます。

6.16.4 th 要素

th 要素 メニューバーから【HTML】－【テーブル】－【見出しセル】を選択します。

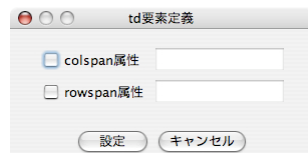


colspan 属性、rowspan 属性の各属性が指定できます。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、終了タグの後で、強制改行されます。

6.16.5 td 要素

td 要素 メニューバーから【HTML】－【テーブル】－【データセル】を選択します。



colspan 属性、rowspan 属性の各属性が指定できます。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、終了タグの後で、強制改行されます。

6.17 a 要素

a 要素を挿入します。a 要素は「リンクアイコン」をクリックしても選択できます。

a 要素 メニューバーから【HTML】－【リンク】を選択します。



id 属性、name 属性、href 属性の各属性が指定できます。href 属性では、「参照ボタン」をクリックして、ローカルファイルを参照することもできます。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入します。

6.18 img 要素

img 要素を挿入します。img 要素は「**画像アイコン**」をクリックしても選択できます。

img 要素 メニューバーから【HTML】－【画像】を選択します。



src 属性、alt 属性は、必須属性です。必ず指定する必要があります。それ以外に height 属性、width 属性の各属性が指定できます。src 属性では、「**参照ボタン**」をクリックして、ローカルファイルを参照することもできます。

挿入位置に空要素のタグが挿入されます。

6.19 組み込みオブジェクト要素

6.19.1 object 要素

object 要素 メニューバーから【HTML】－【組み込みオブジェクト】－【オブジェクト】を選択します。

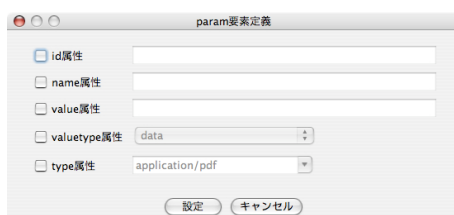


codebase 属性、classid 属性、codetype 属性、data 属性、type 属性、height 属性、width 属性の各属性が指定できます。data 属性では、「**参照ボタン**」をクリックして、ローカルファイルを参照することもできます。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、それぞれのタグの後で、強制改行されます。

6.19.2 param 要素

param 要素 メニューバーから【HTML】－【組み込みオブジェクト】－【パラメータ】を選択します。



id 属性、name 属性、value 属性、valuetype 属性、type 属性の各属性が指定できます。挿入位置に空要素のタグを挿入し、その後で、強制改行されます。

6.20 フォーム要素

6.20.1 form 要素

form 要素 メニューバーから **【HTML】**－**【フォーム】**－**【フォーム】** を選択します。



action 属性、method 属性、enctype 属性の各属性が指定できます。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、それぞれのタグの後で、強制改行されます。

6.20.2 input 要素 (type="submit")

input 要素 type="submit" メニューバーから **【HTML】**－**【フォーム】**－**【ボタン】**－**【送信ボタン】** を選択します。



name 属性、value 属性、disabled 属性、readonly 属性、size 属性の各属性が指定できます。

挿入位置に空要素のタグを挿入し、その後で、強制改行されます。

6.20.3 input 要素 (type="reset")

input 要素 type="reset" メニューバーから **【HTML】**－**【フォーム】**－**【ボタン】**－**【リセットボタン】** を選択します。



name 属性、value 属性、disabled 属性、readonly 属性、size 属性の各属性が指定できます。

挿入位置に空要素のタグを挿入し、その後で、強制改行されます。

6.20.4 input 要素 (type="button")

input 要素 type="button" メニューバーから【HTML】－【フォーム】－【ボタン】－【汎用ボタン】を選択します。

The screenshot shows a dialog box titled 'input要素定義' (input element definition). It contains several input fields for defining an input element of type 'button'. The fields are: 'type属性' (type attribute) set to 'button', 'name属性' (name attribute), 'value属性' (value attribute), 'checked属性' (checked attribute) with an unchecked checkbox, 'disabled属性' (disabled attribute) with an unchecked checkbox, 'readonly属性' (readonly attribute) with an unchecked checkbox, 'size属性' (size attribute), 'maxlength属性' (maxlength attribute), 'src属性' (src attribute) with a '参照' (reference) button, and 'alt属性' (alt attribute). At the bottom are '設定' (settings) and 'キャンセル' (cancel) buttons.

name 属性、value 属性、disabled 属性、readonly 属性、size 属性の各属性が指定できます。挿入位置に空要素のタグを挿入し、その後で、強制改行されます。

6.20.5 input 要素 (type="checkbox")

input 要素 type="checkbox" メニューバーから【HTML】－【フォーム】－【ボタン】－【チェックボックス】を選択します。

The screenshot shows a dialog box titled 'input要素定義' (input element definition). It contains several input fields for defining an input element of type 'checkbox'. The fields are: 'type属性' (type attribute) set to 'checkbox', 'name属性' (name attribute), 'value属性' (value attribute), 'checked属性' (checked attribute) with an unchecked checkbox, 'disabled属性' (disabled attribute) with an unchecked checkbox, 'readonly属性' (readonly attribute) with an unchecked checkbox, 'size属性' (size attribute), 'maxlength属性' (maxlength attribute), 'src属性' (src attribute) with a '参照' (reference) button, and 'alt属性' (alt attribute). At the bottom are '設定' (settings) and 'キャンセル' (cancel) buttons.

name 属性、value 属性、checked 属性、disabled 属性、readonly 属性、size 属性の各属性が指定できます。

挿入位置に空要素のタグを挿入し、その後で、強制改行されます。

6.20.6 input 要素 (type="radio")

input 要素 type="radio" メニューバーから【HTML】－【フォーム】－【ボタン】－【ラジオボタン】を選択します。

The screenshot shows a dialog box titled 'input要素定義' (input element definition). It contains several input fields for defining an input element of type 'radio'. The fields are: 'type属性' (type attribute) set to 'radio', 'name属性' (name attribute), 'value属性' (value attribute), 'checked属性' (checked attribute) with an unchecked checkbox, 'disabled属性' (disabled attribute) with an unchecked checkbox, 'readonly属性' (readonly attribute) with an unchecked checkbox, 'size属性' (size attribute), 'maxlength属性' (maxlength attribute), 'src属性' (src attribute) with a '参照' (reference) button, and 'alt属性' (alt attribute). At the bottom are '設定' (settings) and 'キャンセル' (cancel) buttons.

name 属性、value 属性、checked 属性、disabled 属性、readonly 属性、size 属性の各属性が指定できます。

挿入位置に空要素のタグを挿入し、その後で、強制改行されます。

6.20.7 input 要素 (type="image")

input 要素 type="image" メニューバーから **[HTML] – [フォーム] – [ボタン] – [画像ボタン]** を選択します。



name 属性、value 属性、disabled 属性、readonly 属性、size 属性、src 属性、alt 属性の各属性が指定できます。src 属性では、「参照ボタン」をクリックして、ローカルファイルを参照することもできます。挿入位置に空要素のタグを挿入し、その後で、強制改行されます。

6.20.8 input 要素 (type="text")

input 要素 type="text" メニューバーから **[HTML] – [フォーム] – [フィールド] – [テキストフィールド]** を選択します。



name 属性、value 属性、disabled 属性、readonly 属性、size 属性、maxlength 属性の各属性が指定できます。

挿入位置に空要素のタグを挿入し、その後で、強制改行されます。

6.20.9 input 要素 (type="password")

input 要素 type="password" メニューバーから **[HTML] – [フォーム] – [フィールド] – [パスワードフィールド]** を選択します。

name 属性、value 属性、disabled 属性、readonly 属性、size 属性、maxlength 属性の各属性が指定できます。

挿入位置に空要素のタグを挿入し、その後で、強制改行されます。

6.20.10 input 要素 (type="hidden")

input 要素 type="hidden" メニューバーから【HTML】－【フォーム】－【フィールド】－【隠しフィールド】を選択します。

name 属性、value 属性、disabled 属性、readonly 属性、size 属性の各属性が指定できます。

挿入位置に空要素のタグを挿入し、その後で、強制改行されます。

6.20.11 input 要素 (type="file")

input 要素 type="file" メニューバーから【HTML】－【フォーム】－【フィールド】－【ファイル選択】を選択します。

name 属性、value 属性、disabled 属性、readonly 属性、size 属性の各属性が指定できます。

挿入位置に空要素のタグを挿入し、その後で、強制改行されます。

6.20.12 select 要素

select 要素 メニューバーから【HTML】－【フォーム】－【選択ボックス】－【選択ボックス】を選択します。



name 属性、size 属性、multiple 属性、disabled 属性の各属性が指定できます。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、それぞれのタグの後で、強制改行されます。

6.20.13 option 要素

option 要素 メニューバーから【HTML】－【フォーム】－【選択ボックス】－【選択項目】を選択します。



selected 属性、disabled 属性、label 属性、value 属性の各属性が指定できます。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、終了タグの後で、強制改行されます。

6.20.14 label 要素

label 要素 メニューバーから【HTML】－【フォーム】－【ラベル】を選択します。



for 属性が指定できます。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入します。

6.20.15 fieldset 要素

fieldset 要素 メニューバーから【HTML】－【フォーム】－【グループ】－【フィールドセット】を選択します。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、それぞれのタグの後で、強制改行されます。

6.20.16 legend 要素

legend 要素 メニューバーから **【HTML】**－**【フォーム】**－**【グループ】**－**【グループラベル】** を選択します。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入します。

6.21 コンテナ要素

以下の各要素をカーソル位置あるいは選択されたテキストの前後に挿入します。

6.21.1 div 要素

- メニューバーから **【HTML】**－**【コンテナ】**－**【ブロックコンテナ】** を選択します。
- 「**DIV アイコン**」をクリックします。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入し、それぞれのタグの後で、強制改行されます。

6.21.2 span 要素

- メニューバーから **【HTML】**－**【コンテナ】**－**【インラインコンテナ】** を選択します。
- 「**SPAN アイコン**」をクリックします。

選択されたテキストの開始位置に開始タグ、終了位置に終了タグを挿入します。

第7章 JHime による CSS の挿入

7.1 挿入の概要

CSS の各ブロックやプロパティの挿入も HTML のタグを挿入するのと同様に行うことができます。各指定にはメニューバーの「CSS メニュー」からすべて行えますが、一部の指定は、ツールバーあるいは CSS (1) ツールパネル、CSS (2) ツールパネルも併用できるようになっています。

7.2 セレクタの挿入

セレクタの指定は、挿入したい位置にカーソルを移動後、つぎのいずれかの操作を行います。

- メニューバーから【CSS】－【セレクタ】を選択します。
- ツールバーから「**セレクタアイコン**」をクリックします。

セレクタ指定ダイアログは、3 枚のパネルから構成されています。

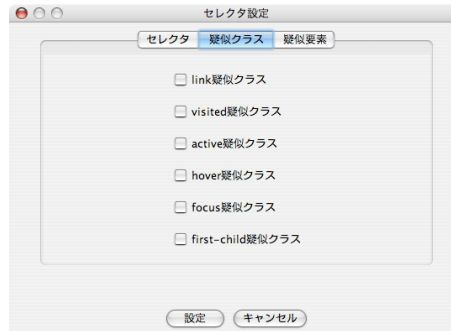
セレクタパネル セレクタ結合子、タイプセレクタ、クラスセレクタ、ID セレクタ、属性セレクタの指定を行います。



すべてを指定した場合のテキストを例示します。

,*.クラス#ID[属性名="属性値"]

疑似クラスパネル link 疑似クラス、visited 疑似クラス、active 疑似クラス、hover 疑似クラス、focus 疑似クラス、first-child 疑似クラスの指定を行います。



すべてを指定した場合のテキストを例示します。

```
:link:visited:active:hover:focus:first-child
```

疑似要素 first-line 疑似要素、first-letter 疑似要素、before 疑似要素、after 疑似要素の指定を行います。



すべてを指定した場合のテキストを例示します。

```
:first-line:first-letter:before:after
```

7.3 @規則の挿入

@charset、@import、@media の挿入を行います。

7.3.1 @charset の挿入

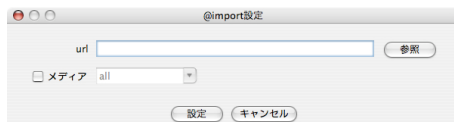
- メニューバーから **【CSS】** — **【@規則】** — **【@charset】** を選択します。



エンコーディング方式を選択します。
@charset を挿入後、強制改行します。

7.3.2 @import の挿入

- メニューバーから【CSS】－【@規則】－【@import】を選択します。



url、メディアを選択します。url の指定には、「参照ボタン」をクリックしてローカルファイルを指定することもできます。

@import を挿入後、強制改行します。

7.3.3 @media の挿入

- メニューバーから【CSS】－【@規則】－【@media】を選択します。



メディアを選択します。

選択されたテキストの開始位置に @media を、終了位置に } を挿入後、それぞれに強制改行します。

7.4 ブロックの挿入

- メニューバーから【CSS】－【ブロック】を選択します。
- ツールバーから**ブロックアイコン**をクリックします。

選択されたテキストの開始位置に { を、終了位置に } を挿入後、それぞれに強制改行します。

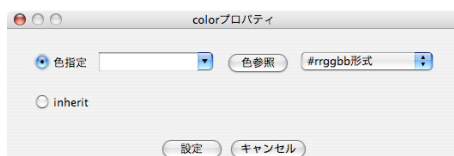
7.5 色・背景の挿入

以下の色、背景のプロパティを挿入します。各プロパティは *CSS (1)* ツールパネルの**色・背景選択ボックス**からも選択できます。

7.5.1 前景色 (color プロパティ)

color プロパティを挿入します。

メニューバーから【CSS】－【色・背景】－【前景色】を選択します。



color プロパティを inherit、色名、あるいは「色参照ボタン」をクリックし、色選択ダイアログから色コードを指定します。その場合のコード形式は、「形式ボックス」から選択します。

色選択ダイアログが、どのようなダイアログで表示されるかは、オペレーティングシステムの影響を受けます。

プロパティ挿入後、強制改行します。

7.5.2 背景個別設定 (background-color、background-image、background-repeat、background-attachment、background-position)

background-color、background-image、background-repeat、background-attachment、background-position の各プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】** — **【色・背景】** — **【背景個別設定】** を選択します。

各プロパティ挿入後、プロパティごとに強制改行します。

背景色 background-color プロパティを指定します。



画像指定 background-image プロパティを指定します。



画像繰返し background-repeat プロパティを指定します。



画像固定 background-attachment プロパティを指定します。



画像初期位置 background-position プロパティを指定します。



7.5.3 背景一括設定 (background プロパティ)

background プロパティを挿入します。

メニューバーから【CSS】－【色・背景】－【背景一括設定】を選択します。

各指定のダイアログパネルは、背景個別設定と同一です。

background プロパティ挿入後、強制改行します。

7.6 フォント・テキスト

以下のフォント、テキストの各プロパティを挿入します。各プロパティは CSS (1) ツールパネルのフォント・テキスト選択ボックスからも選択できます。

7.6.1 フォント個別指定 (font-family、font-style、font-weight、font-size)

font-family、font-style、font-weight、font-size の各プロパティを挿入します。

メニューバーから【CSS】－【フォント】－【フォント個別指定】を選択します。



font-family、font-style、font-weight、font-size の各プロパティの値を指定します。なお、font-family プロパティでは、汎用フォントを除いて、最大2つまでのフォントファミリーが指定できます。
各プロパティ挿入後、プロパティごとに強制改行します。

7.6.2 フォント一括指定 (font プロパティ)

font プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】 — 【フォント】 — 【フォント一括指定】** を選択します。

font-family、font-style、font-weight、font-size の各プロパティに相当する値を指定します。なお、font-family プロパティ相当部分では、汎用フォントを除いて、最大2つまでのフォントファミリーが指定できます。

font プロパティ挿入後、強制改行します。

7.6.3 テキスト (text-indent、text-align、text-decoration、white-space)

text-indent、text-align、text-decoration、white-space の各プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】 — 【テキスト】** を選択します。



text-indent、text-align、text-decoration、white-space の各プロパティの値を指定します。
各プロパティ挿入後、プロパティごとに強制改行します。

7.7 ボックスモデル

以下のボックスモデルの各プロパティを挿入します。各プロパティは *CSS (1)* ツールパネルのボックスモデル選択ボックスからも選択できます。

7.7.1 マージン個別指定 (margin-top、margin-right、margin-bottom、margin-left)

margin-top、margin-right、margin-bottom、margin-left の各プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】 — 【ボックスモデル】 — 【マージン個別指定】** を選択します。



margin-top、margin-right、margin-bottom、margin-left の各プロパティの値を指定します。
各プロパティ挿入後、プロパティごとに強制改行します。

7.7.2 マージン一括指定 (margin プロパティ)

margin プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】** — **【ボックスモデル】** — **【マージン一括指定】** を選択します。

margin-top、margin-right、margin-bottom、margin-left の各プロパティの部分が、それぞれ 1 番目の値から 4 番目の値に相当します。

すなわち、margin-top のみを指定した場合は、上下左右すべてに同じ値を適用し、margin-top、margin-right を指定した場合は、margin-top に指定した値が上下、margin-right に指定した値が左右に適用されます。以下、同様に margin プロパティの 4 つの値にそれぞれが対応しています。

margin プロパティ挿入後、強制改行します。

7.7.3 パディング個別指定 (padding-top、padding-right、padding-bottom、padding-left)

padding-top、padding-right、padding-bottom、padding-left の各プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】** — **【ボックスモデル】** — **【パディング個別指定】** を選択します。



padding-top、padding-right、padding-bottom、padding-left の各プロパティの値を指定します。
各プロパティ挿入後、プロパティごとに強制改行します。

7.7.4 パディング一括指定 (padding プロパティ)

padding プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】** — **【ボックスモデル】** — **【パディング一括指定】** を選択します。

padding-top、padding-right、padding-bottom、padding-left の各プロパティの部分が、それぞれ 1 番目の値から 4 番目の値に相当します。

すなわち、padding-top のみを指定した場合は、上下左右すべてに同じ値を適用し、padding-top、padding-right を指定した場合は、padding-top に指定した値が上下、padding-right に指定した値が左右に適用されます。以下、同様に padding プロパティの 4 つの値にそれぞれが対応しています。

padding プロパティ挿入後、強制改行します。

7.7.5 四角ボーダー指定 (border プロパティ)

border プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】** — **【ボックスモデル】** — **【四角ボーダー指定】** を選択します。



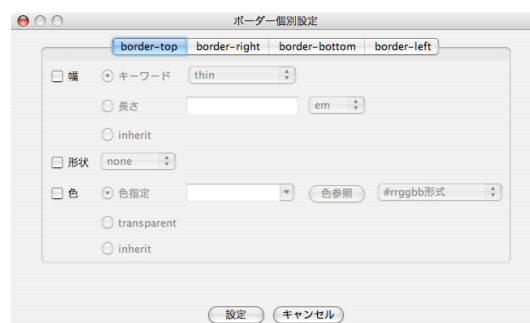
border プロパティのボーダー幅、ボーダー形状、ボーダー色を指定します。

border プロパティ挿入後、強制改行します。

7.7.6 ボーダー個別指定 (border-top、border-right、border-bottom、border-left)

border-top、border-right、border-bottom、border-left の各プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】** — **【ボックスモデル】** — **【ボーダー個別指定】** を選択します。



border-top、border-right、border-bottom、border-left の各プロパティごとにパネルを選択し、それぞれのボーダー幅、ボーダー形状、ボーダー色を指定します。

各プロパティ挿入後、プロパティごとに強制改行します。

7.8 視覚表現

以下の各プロパティを挿入します。各プロパティは *CSS (1)* ツールパネルの視覚表現選択ボックスからも選択できます。

7.8.1 内容領域幅 (width プロパティ)

width プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】** — **【視覚表現】** — **【内容領域幅】** を選択します。



内容領域の幅を指定します。

width プロパティ挿入後、強制改行します。

7.8.2 内容領域高さ (height プロパティ)

height プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】** — **【視覚表現】** — **【内容領域高さ】** を選択します。



内容領域の高さを指定します。

height プロパティ挿入後、強制改行します。

7.8.3 行の高さ (line-height プロパティ)

line-height プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】** — **【視覚表現】** — **【行の高さ】** を選択します。



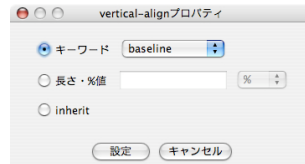
行の高さを指定します。

line-height プロパティ挿入後、強制改行します。

7.8.4 垂直位置指定 (vertical-align プロパティ)

vertical-align プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】** — **【視覚表現】** — **【垂直位置指定】** を選択します。



垂直位置を指定します。

vertical-align プロパティ挿入後、強制改行します。

7.8.5 ボックス生成 (display プロパティ)

display プロパティを挿入します。

メニューバーから【CSS】－【視覚表現】－【ボックス生成】を選択します。



ボックスの種類を指定します。

display プロパティ挿入後、強制改行します。

7.9 視覚整形

以下の各プロパティを挿入します。各プロパティは *CSS (2)* ツールパネルの視覚整形選択ボックスからも選択できます。

7.9.1 配置方法 (position プロパティ)

position プロパティを挿入します。

メニューバーから【CSS】－【視覚整形】－【配置方法】を選択します。



配置方法を指定します。

position プロパティ挿入後、強制改行します。

7.9.2 位置指定 (top、right、bottom、left)

top、right、bottom、left の各プロパティを挿入します。

メニューバーから【CSS】－【視覚整形】－【位置指定】を選択します。



top、right、bottom、left それぞれの位置を指定します。
各プロパティ挿入後、プロパティごとに強制改行します。

7.9.3 フロート配置 (float プロパティ)

float プロパティを挿入します。

メニューバーから【CSS】－【視覚整形】－【フロート配置】を選択します。

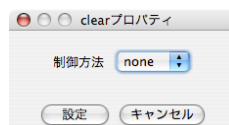


フロートの配置方法を指定します。
float プロパティ挿入後、強制改行します。

7.9.4 フロート制御 (clear プロパティ)

clear プロパティを挿入します。

メニューバーから【CSS】－【視覚整形】－【フロート制御】を選択します。



フロートの制御方法（フロートの解除方法）を指定します。
clear プロパティ挿入後、強制改行します。

7.10 視覚効果

以下の各プロパティを挿入します。各プロパティは *CSS (2)* ツールパネルの視覚効果選択ボックスからも選択できます。

7.10.1 オーバーフロー制御 (overflow プロパティ)

overflow プロパティを挿入します。

メニューバーから【CSS】－【視覚効果】－【オーバーフロー制御】を選択します。



オーバーフローの制御方法を指定します。
overflow プロパティ挿入後、強制改行します。

7.10.2 可視制御 (visibility プロパティ)

visibility プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】** — **【視覚効果】** — **【可視制御】** を選択します。



可視性の制御方法を指定します。
visibility プロパティ挿入後、強制改行します。

7.11 リスト

以下の各プロパティを挿入します。各プロパティは *CSS (2)* ツールパネルのリスト選択ボックスからも選択できます。

7.11.1 リスト個別指定 (list-style-type、list-style-image、list-style-position)

list-style-type、list-style-image、list-style-position プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】** — **【視覚効果】** — **【リスト個別指定】** を選択します。



list-style-type (マーカー種類)、list-style-image (マーカー画像)、list-style-position (マーカー位置) の各プロパティの値を指定します。

list-style-type、list-style-image、list-style-position の各プロパティ挿入後、それぞれごとに強制改行します。

7.11.2 リスト一括指定 (list プロパティ)

list プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】** **—** **【視覚効果】** **—** **【リスト一括指定】** を選択します。

リスト個別指定と同様のダイアログで、マーカー種類、マーカー画像、マーカー位置の値を指定します。
list プロパティ挿入後、強制改行します。

7.12 テーブル

以下の各プロパティを挿入します。各プロパティは *CSS (2)* ツールパネルの**テーブル選択ボックス**からも選択できます。

7.12.1 キャプション位置 (caption-side プロパティ)

caption-side プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】** **—** **【テーブル】** **—** **【キャプション位置】** を選択します。



テーブルキャプションの位置を指定します。
caption-side プロパティ挿入後、強制改行します。

7.12.2 テーブル設定 (table-layout、border-collapse、border-spacing)

table-layout、border-collapse、border-spacing の各プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】** **—** **【テーブル】** **—** **【テーブル設定】** を選択します。

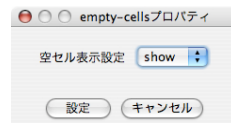


table-layout、border-collapse、border-spacing 各プロパティの値を指定します。
table-layout、border-collapse、border-spacing の各プロパティ挿入後、それぞれごとに強制改行します。

7.12.3 空セル設定 (empty-cells プロパティ)

empty-cells プロパティを挿入します。

メニューバーから **【CSS】** — **【テーブル】** — **【空セル設定】** を選択します。



空セルの表示方法を指定します。

empty-cells プロパティ挿入後、強制改行します。

第8章 JHime による RSS の挿入

8.1 挿入の概要

JHime では、RSS 2.0 の主要要素および iTunes 用の XML 各著要素の挿入も HTML のタグを挿入するのと同様に行うことができます。各指定にはメニューバーの「RSS メニュー」からすべて行えますが、一部の指定は、RSS ツールパネルも併用できるようになっています。

8.2 チャネル設定

以下のチャネルに関する各要素を挿入します。各設定は *RSS ツールパネル* の *チャネル設定選択ボックス* からも選択できます。

8.2.1 必須要素設定

rss、channel、title、link、description、generator、docs、itunes:summary の各必須要素を挿入します。

メニューバーから **[RSS] — [チャネル設定] — [必須要素設定]** を選択します。



基本的な RSS ファイルのベースを作成します。

「iTunes タグを含む」にチェックがある場合は、iTunes 用の名前空間を追加します。また、「description 要素と itunes:summary 要素を同一の内容にする」をチェックした場合は、description 要素に入力した内容が、itunes:summary 要素にも反映されます。

以下に作成例を示します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<rss xmlns:itunes="http://www.itunes.com/dtds/podcast-1.0.dtd" version="2.0">
<channel>
<title>タイトル要素</title>
<link>リンク要素</link>
<description>説明文</description>
<generator>JHime</generator>
<docs>http://blogs.law.harvard.edu/tech/rss</docs>
<itunes:summary>説明文</itunes:summary>
</channel>
</rss>
```

8.2.2 任意要素設定

language、copyright、managingEditor、webMaster、lastBuildDate、category、ttl、image の RSS 2.0 の各任意要素および image 要素内の url、title、link、description、width、height の各要素を挿入します。

メニューバーから **[RSS] - [チャンネル設定] - [任意要素設定]** を選択します。

各要素の値を入力します。

8.2.3 itunes 要素設定

itunes:author、itunes:category、itunes:image、itunes:explicit、itunes:keywords、itunes:owner、itunes:name、itunes:email、itunes:subtitle、itunes:summary の各 itunes 用チャンネル要素を挿入します。

メニューバーから **[RSS] - [チャンネル設定] - [itunes 要素設定]** を選択します。

各要素の値を指定します。なお、カテゴリーはサブカテゴリーを指定することができます。

8.3 項目設定

以下のチャンネル内の項目に関する各要素を挿入します。各設定は **RSS ツールパネルの項目設定選択ボックス**からも選択できます。

8.3.1 item 要素

item 要素を挿入します。

メニューバーから **[RSS] — [項目設定] — [item 要素]** を選択します。

選択されているテキストの開始位置に開始タグを、終了位置に終了タグを挿入します。
開始タグ、終了タグ、それぞれ挿入後、強制改行します。

8.3.2 任意要素設定

item 要素内に記述できる title、link、description、author、category、comments、enclosure、guid、pubDate の各要素を挿入します。

メニューバーから **[RSS] — [項目設定] — [任意要素設定]** を選択します。

各要素の値を指定します。なお、「参照ボタン」をクリックすると、ローカルファイルへの参照を指定することができます。

8.3.3 itunes 要素設定

item 要素内に記述できる itunes:author、itunes:duration、itunes:explicit、itunes:keywords、itunes:subtitle、itunes:summary の各要素を挿入します。

メニューバーから **[RSS] — [項目設定] — [itunes 要素設定]** を選択します。

各要素の値を指定します。